

史跡水子貝塚整備基本計画

(令和6年度～令和10年度)

－水子貝塚の本質的価値－

縄文時代前期に営まれた全国でも最大級の小貝塚群を伴う環状集落

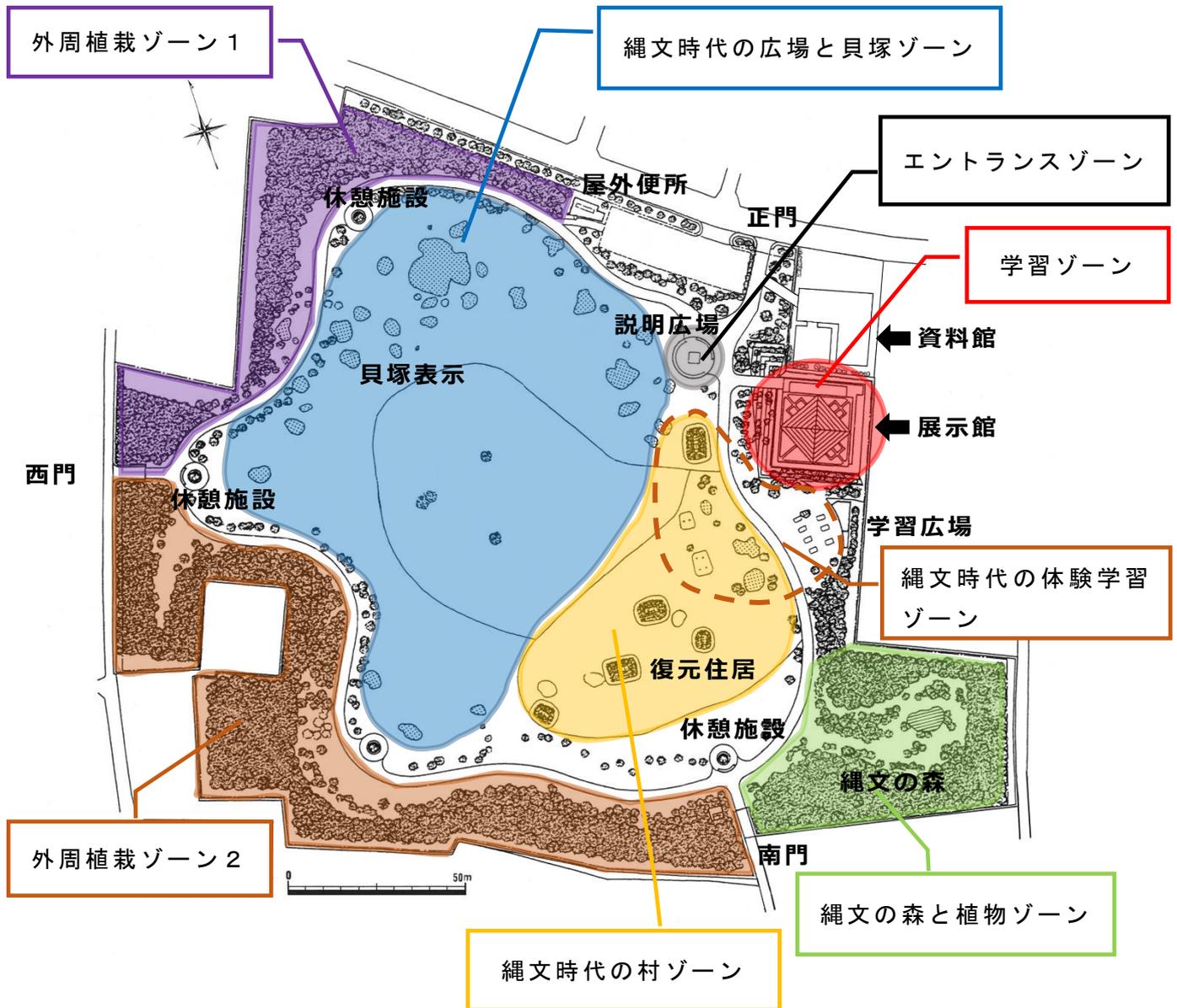


－再整備基本方針－

- (1) 史跡を未来へつなぐ適切な保存
- (2) 学びにつなげる縄文空間の再構築
 - ①理解を深める学習空間の創出
 - ②学びと自然環境が調和した空間の構築
 - ③新たな活用に向けたアップグレード
- (3) 活用につながる施設と事業の拡充
- (4) 安心・快適な空間づくり
- (5) 市民とともにつくる環境づくり

—再整備のテーマ—

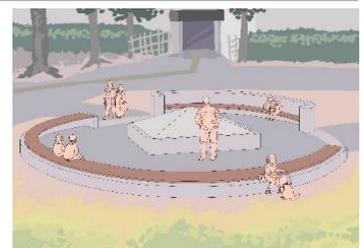
もっと体感！縄文海進期最大貝塚のランドスケープ もっと体験！縄文テーマパーク



エンタランスゾーン

●説明広場

史跡水子貝塚の本質的価値や遺跡の成立背景となった縄文海進との関係を分かりやすく伝えるため、大型説明板の内容を刷新し、全面改修を進めます。

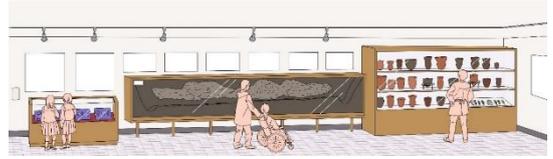


(主な計画) 大型説明板の全面改修／各門の壁面解説板に史跡を理解してもらうための銘板設置

学習ゾーン

●展示館

新たな映像や資料の作成、デジタル技術の導入等により、史跡水子貝塚をわかりやすく学べるよう再整備を進めます。



(主な計画) 解説映像の一新／解説パネルの刷新／人骨の復顔／デジタルコンテンツを使用した展示／展示館周辺の高木樹木の伐採／天井照明の新設

縄文時代の体験学習ゾーン

●学習広場

園内で天候に左右されずに体験学習ができ、かつ長時間ゆっくりと滞在できる空間の整備を進めます。

(主な計画) 学習広場を覆う屋根の設置／テーブルの配置の見直しと増設／広場部分を舗装しバリアフリー化



●竪穴住居跡

水子貝塚での小貝塚形成過程を見せるとともに、定期的な発掘体験ができる施設整備を進めます。

(主な計画) 完掘した竪穴住居跡2棟の復元／発掘調査体験等への活用

縄文時代の村ゾーン

●復元住居

一部の改修を除いて、現状維持とします。

(主な計画) 差し茅と棟の杉皮の交換

縄文時代の広場と貝塚ゾーン

●貝塚表示

本質的価値を伝えるため、貝塚表示の修復を進めます。

(主な計画) 剥がれたハマの復旧と汚れの除去／令和6年度発掘調査地点の竪穴住居を貝塚表示として整備／デジタルコンテンツを活用した情報の補足



●復元住居

環状集落のイメージがわきやすい景観整備を進めます。

(主な計画) 公園西側に平地式の復元住居2棟を市民との協働により建築



縄文の森と植物ゾーン

●縄文の森

縄文時代の自然の森を彷彿させる景観整備を進めます。

(主な計画) フェンスから3m以内の高木の伐採／マテバシイの伐採／間伐

外周植栽ゾーン

●外周植栽ゾーン1、外周植栽ゾーン2

縄文の村の周囲に広がり、縄文人が日常的に利用し、管理している森として整備を進めます。

(主な計画) フェンスから3m以内の高木の伐採／間伐／最低限のマテバシイを残しての伐採／クリ、クルミ、トチの新植／食用植物などを育てるエリアの設置／自然資源再生エリアの設置

その他の管理設備

●保存盛土

史跡を保存するため、当初の厚みの盛土の維持を図ります。

(主な計画) 雨水により流出した盛土の復旧／遺構に影響する樹木の伐採

●園路

破損個所以外は現状のまま維持します。

(主な計画) 破損した箇所の修繕

●側溝

短時間の集中豪雨時に、来園者の安全が確保できるよう改修を行います。

(主な計画) 園路の水没及び土砂の流出を防ぐための側溝の設置

●サイン

来園者に園内を周知するための案内看板や誘導表示、情報を発信するための掲示板の設置を進めます。

(主な計画) 総合案内板の設置／誘導表示の設置／注意看板の設置／掲示板の改修／学習の補助となる説明板の設置

●厨房設備

水子貝塚公園の体験活用事業を効率的に実施するために、厨房の新設を検討します。また、事業等で使用していない時には、園内利用者に飲食を提供する団体等に貸出すことを想定して検討します。

(主な計画) 水子貝塚公園隣接地に厨房の新設

●情報発信

史跡水子貝塚の本質的価値を来園者に効果的に伝えていく手段として、デジタルコンテンツの積極的な活用を検討します。

(主な計画) 展望台に代わるデジタルコンテンツによる上からの景観を一望できる整備の検討／スマートフォン等ツールを媒体とした情報提供／外国人へ向けた表記の導入